

(様式3)

事業所名 グループホーム ひめばら

目標達成計画

作成日: 令和 7年 1月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	以前より、ボランティアやサマーチャレンジ等の訪問など、地域と交流する機会は増えてきている。地域住民と施設が交流する機会を増やしたり、ただ外に外出するだけではなく、入居者個々に合わせた関わり方を検討し、より意義のある交流を増やしていきたい。	入居者が地域との関わりを持つことで、日々の生活の中で楽しみのある生活が送れる。	①地域の方のボランティアの受け入れを積極的に行う。 ②職員が、入居者個々にあった地域との関わりを意識した活動を行う。 ③地域に出かけるための予算組みの検討。	12ヶ月
2	6,7,11,27,33	入居者への関わり方や、具体的には看取りケアに対して、職員の対応や考えが統一されていない。	職員が具体的に、ひめばらが大切に行うケアを意識しながら、サービス提供を行うことができる。	①あり方委員会を定期開催し、職員の意見を集約しながら、大切にするケアを明確化する。 ②認知症ケアや看取りケアなど、施設としての考え方を示すとともに、職員が混乱することなくケアを行える対策を検討する(リーダー会、あり方委員会などにて)。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。